

令和8(2026)年度 栃木県公立学校新規採用教員選考要項

電子申請受付期間 願書受付期間	4月4日(金)～5月7日(水) ※ 5月7日(水)消印有効
第1次試験	7月6日(日) 学力試験
第1次試験結果通知	8月上旬 頃
第2次試験	8月21日(木)～23日(土) 面接試験・論作文 8月24日(日) 実技試験
第2次試験結果通知	9月下旬 頃

今年度の主な変更点

- 全ての実技試験を第2次試験で実施(4ページ)
 - 選考試験の結果通知方法と第2次試験の案内方法の変更(5ページ)
 - 「特別支援学級担当に係る特別選考」の受験資格を変更(7ページ)
 - 「特定の資格や経歴による特別選考」に高等学校の商業と「Ⅲ スポーツの実績による選考」を追加(8・9・10ページ)
 - 「大学推薦特別選考」に中学校(美術、技術、家庭)と高等学校(英語)を追加(11ページ)
 - 「前年度大学3年生選考通過者による特別選考」を追加(11ページ)
 - 特別選考出願に係る「提出書類・出願手続き」の変更(7、9、11ページ)
 - 加点申請に係る必要書類の提出方法の変更(15ページ)
- ※ 上記の変更点については、波線で記載しています。

～ 目 次 ～

【1 選考要項】

1 募集区分・教科・科目及び人員・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

2 受験資格・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

3 選考区分及び併願、選考概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

4 選考方法・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

5 出願手続及び出願方法・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

6 試験期日及び試験会場・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

7 受験心得・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

8 選考試験の結果・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

9 その他・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

10 特別選考・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

11 特例制度・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14

12 加点制度・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15

【2 教員選考願書等作成の注意事項と印刷例等】

1 教員選考願書等作成の注意事項・・・・・・・・ P 16

2 郵送時の確認事項・・・・・・・・ P 17

3 願書等印刷例・・・・・・・・ P 18

【3 採用及び勤務条件】

1 採用・・・・・・・・ P 21

2 勤務条件・・・・・・・・ P 21

【4 採用試験に関する Q & A】・・・・・・・・ P 22

【5 会場へのアクセス】・・・・・・・・ P 24

○「とちぎの求める教師像」

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

人間性豊かで信頼される教師
幅広い視野と確かな指導力をもった教師
教育的愛情と使命感をもった教師



○「栃木県教員育成指標」(教論「採用時の姿」部分抜粋)

「とちぎの求める教師像」を踏まえ、キャリア段階に応じて求められる資質・能力を示しています。

・・・・・・・・・・・・・・・・ 全体指標

教員としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志をもっている。

学習指導に関する指標	児童・生徒指導に関する指標	参画・経営に関する指標	意欲・態度に関する指標
学習指導の基礎・基本を理解するとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志をもっている。	児童・生徒指導の基礎・基本を理解しているとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志をもっている。	組織の一員として自分の役割を果たそうとする強い意志をもっている。	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。

【1 選考要項】

1 募集区分・教科・科目及び人員

小学校教諭・中学校教諭等合わせて 405 名程度（別枠含む）

※ 中学校は国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 各若干名

※ 「A-2 小学校における英語教育に係る特別選考」は小学校別枠で 30 名程度

※ 「A-3 特別支援学級担当に係る特別選考」は小学校・中学校の全教科合わせて別枠で 20 名程度

高等学校教諭等 70 名程度

※ 国語、地理、歴史、公民、数学、物理、化学、生物、音楽、書道、保健体育、家庭、福祉、英語、
情報、農業、電気、機械、建築、商業 各若干名

特別支援学校教諭等 40 名程度

養護教諭 小・中学校は 15 名程度、高等学校及び特別支援学校は若干名

2 受験資格（「D 大学3年生を対象とした特別選考」の受験資格は 13 ページを参照）

次の各号の全てに該当する者。

- (1) 昭和 41(1966)年 4 月 2 日以降に生まれた者。
- (2) 志望する学校種別（小・中・高）、教科・科目等に相当する普通免許状又は特別免許状（以下「普通免許状等」という。）を取得した者又は令和 8(2026)年 3 月 31 日までに取得見込み確実の者。ただし、特別支援学校においては、特別支援学校普通免許状と、志望する部（小・中・高）、教科・科目等に相当する普通免許状等を取得した者又は取得見込み確実の者。なお、高等学校における保健体育を志望する者は保健体育の普通免許状等、電気、機械、建築を志望する者は工業の普通免許状等、商業を志望する者は商業の普通免許状等を取得した者又は取得見込み確実の者。
- (3) 地方公務員法第 16 条及び学校教育法第 9 条の欠格条項に該当しない者。

3 選考区分及び併願、選考概要

(1) 選考区分

選考区分は、「一般選考」、「特別選考」の 2 種類となり、一般選考又は特別選考のいずれかに出願すること。特例制度は、一般選考及び特別選考（「C-1 大学推薦特別選考」は除く）と併せて出願することができる。

特別選考で出願し、書類選考の結果対象とならなかった者は、一般選考での受験とする。また、特別選考のうち、A 区分（区分については 2 ページの(3)を参照）については、別枠で選考する。

(2) 併願での受験（小・中学校のみ）

各選考区分について、次の場合のみ併願を認める。併願者は、第 1 次試験において併願する学校種別の専門科目を受験すること。

ア 一般選考（特例、加点を含む）

- ・ 第 1 志望「小学校教諭（一般選考）」と第 2 志望「中学校教諭（一般選考）」
- ・ 第 1 志望「中学校教諭（一般選考）」と第 2 志望「小学校教諭（一般選考）」

イ 特別選考「A-2 小学校における英語教育に係る特別選考」

- ・ 第 1 志望「小学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「小学校教諭（一般選考）」
- ・ 第 1 志望「小学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「中学校教諭（英語・一般選考）」

ウ 特別選考「A-3 特別支援学級担当に係る特別選考」

- ・ 第 1 志望「小学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「小学校教諭又は中学校教諭（一般選考）」
- ・ 第 1 志望「中学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「小学校教諭又は中学校教諭（一般選考）」

エ 特別選考「B-1 講師等経験者特別選考」

- ・ 第 1 志望「小学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「中学校教諭（一般選考）」
- ・ 第 1 志望「中学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「小学校教諭（一般選考）」

オ 特別選考「B-2 特定の資格や経歴による特別選考」

(ア) 「Ⅱ 国際貢献活動等の経歴による選考」

- ・ 第 1 志望「小学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「中学校教諭（一般選考）」
- ・ 第 1 志望「中学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「小学校教諭（一般選考）」

(イ) 「Ⅲ スポーツの実績による選考」

- ・ 第 1 志望「中学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「小学校教諭（一般選考）」

カ 特別選考「D 大学3年生を対象とした特別選考」

- ・ 第 1 志望「小学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「中学校教諭（特別選考）」
- ・ 第 1 志望「中学校教諭（特別選考）」と第 2 志望「小学校教諭（特別選考）」

※ 「A-1 障害のある方を対象とした特別選考」に出願する者で、他の特別選考の受験資格を満たしている場合は、他の特別選考と併せて出願することができる。

(3) 選考概要

選考区分	選考名		第1次試験		第2次試験			加点申請	併願				
			一般教養	専門科目	個人面接	論文	実技試験		第1志望	第2志望			
一般選考			○	○	○	△	◎	○	小(一) 中(一)	中(一) 小(一)			
特別選考	A	1	障害のある方を対象とした特別選考		○	○	○	△	◎	○	小(特) 中(特)	P1の3 参照	
		2	小学校における英語教育に係る特別選考		免除	○	○	—	◎	○	小(特)	小(一) 中(一)	
		3	特別支援学級担当に係る特別選考	受験資格ア 受験資格イ	免除 免除	○	○	—	◎	○	小(特) 中(特)	小(一) 中(一)	
	B	1	講師等経験者特別選考		免除	○	○	△	◎	○	小(特) 中(特)	中(一) 小(一)	
		2	特定の資格や経歴による特別選考		I・II	免除	○	○	△	◎	○	小(特) 中(特)	中(一) 小(一)
					III (保体以外)	免除	○	○	△	◎	○	中(特)	小(一)
	C	1	大学推薦特別選考	小・中学校	免除	○	—	◎	—	—	—	—	
				高校 (英・情)	免除	○	○	△	◎	○	—	—	
		2	前年度大学3年生選考通過者による特別選考		免除	○	△	◎	—	—	—		
		3	前年度第2次試験Aランク特別選考		免除	○	△	◎	—	—	—		
		4	現職教諭等特別選考		免除	○	△	◎	—	—	—		
	D	1	大学3年生を対象とした特別選考		○	○	—	—	—	—	小(特) 中(特)	中(特) 小(特)	
							出願する一般選考又は特別選考に準ずる						
特例制度	1	大学院在学者に対する特例											
	2	大学院進学者に対する特例											

- ※ 「△」は、高等学校及び特別支援学校、養護教諭（高・特）を志望する者のみ実施
- ※ 併願の「（一）」は一般選考、「（特）」は特別選考を表す。
- ※ 「◎」は、指定のある募集区分・教科・科目等のみ実施（詳細は4ページを参照）

4 選考方法

(1) 第1次試験（学力試験）

区分	内 容
小学校教諭	一般教養（教職専門を含む）及び国語、社会、数学、理科、音楽、美術、体育、家庭、英語に関する専門科目
中学校教諭	一般教養（教職専門を含む）及び志望する教科に関する専門科目
高等学校教諭	一般教養（教職専門を含む）及び志望する教科・科目等に関する専門科目
特別支援学校教諭	一般教養（教職専門を含む）及び特別支援教育に関する専門科目
養護教諭	一般教養（教職専門を含む）及び養護に関する専門科目

(2) 第2次試験（第1次試験の合格者及び第1次試験免除者に対する個人面接、論作文、実技試験）

区分	内 容
小学校教諭 中学校教諭 養護教諭（小・中）	・個人面接①「総合的な資質・能力に関する面接」、個人面接②「実践的な指導力に関する面接」 ・実技試験（中学校：音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）
高等学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭（高・特）	・個人面接①「総合的な資質・能力に関する面接」、個人面接②「実践的な指導力に関する面接」 ・論作文 ・実技試験（高等学校：音楽、書道、保健体育、家庭、英語、情報、電気、機械、建築）

(3) 選考基準

栃木県教育委員会ホームページにおいて公表

5 出願手続及び出願方法（教員選考願書等作成の注意事項と印刷例等は、16～20 ページを参照）

(1) 栃木県電子申請システムでの出願手続き

- ア 栃木県ホームページから、「栃木県電子申請システム」にアクセスする。
- イ 「手続き一覧」の中から、「令和8(2026)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験」を選択し、必要事項を入力する。
- ウ 申込み完了後に、登録アドレス宛てに送信される「整理番号」及び「パスワード」を控える。

整理番号	パスワード

電子申請システムによる出願手続の注意事項

システム利用可能期間：令和7(2025)年4月4日(金)から5月7日(水)

- 1 **申込み締切り直前の回線混雑時やシステム管理等のため、一時的に利用できない場合があるので、余裕をもって申込むこと。**
- 2 電子申請システムで使用するメールアドレスは、緊急連絡等にも使用することがあるので、本人がメールの受信を常に確認できるメールアドレスで登録すること。
- 3 **必要事項を入力したら、必ず「申込む」ボタンをクリックすること。**（「申込む」ボタンをクリックしないと、正常に申込みが完了しない場合がある。）
- 4 申込み後、入力内容の「修正」が必要な場合は、電子申請システム内のメニュー「申込内容照会」から登録した内容を照会し、「修正」を行うこと。

(2) 願書・受験者カード及び必要書類の確認

- ア 電子申請システムにより作成した願書・受験者カード（PDF）を印刷する。
- イ 願書・受験者カードに写真を貼付し、願書の内容を確認の上、署名欄に自署する。
- ウ 特別選考及び加点制度の申請を行う者は、必要書類を作成・準備する。

(3) 出願書類の提出（郵送）

出 願 書 類	注 意 事 項
① 教員選考願書	栃木県ホームページから「栃木県電子申請システム」に進み、申込み手続の方法をよく確認してから申請手続を行うこと。願書には、所定の写真（カラーに限る）を貼ること。
② 受験者カード	プリントアウトしたものを切り取り、所定の写真（カラーに限る）を貼ること。
③ 連絡用定形封筒	全員2通提出すること。（同じものを2通用意） 長形3号（12cm×23.5cm）のり付き。封筒に110円切手を貼り、封筒表面に、郵便番号、住所、受験者の氏名等の宛て先を記入すること。氏名の後には「様」を書き添えること。
④ 必要書類	特別選考及び加点制度を利用する受験者は、要項を確認の上、もれなく準備すること。

- ・ 料金不足による差出人への返送とならないように郵便料金を確認し、**郵便局の窓口等で郵送**すること。
- ・ **下記の期間以外は受け付けない。**
- ・ 願書等記載事項に重大な瑕疵や虚偽があった場合には、合格・採用を原則無効とする。
- ・ 受け付けた書類は、返却しない。また、**期限内に必要な書類が提出されない場合は、特別選考及び加点制度の対象とならない場合がある。**（昨年度中に通信教育等で必要単位を取得し、免許申請中の方で、**必要書類の提出が間に合わない場合は、5月7日(水)までに、下記問合せ先に必ず連絡すること。**）

<願書等受付期間> （厳守）

令和7(2025)年4月4日(金)から5月7日(水)まで（5月7日(水)の消印まで有効）

<書類の提出先>

〒320-8501 宇都宮市埜田1丁目1番20号

栃木県教育委員会事務局義務教育課人事担当又は高校教育課人事担当宛て

志 望 区 分	問 合 せ 先	連絡先電話番号
小学校教諭、中学校教諭、養護教諭（小・中）	義務教育課人事担当	TEL 028-623-3386 FAX 028-623-3399
高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭（高・特）	高校教育課人事担当	TEL 028-623-3396 FAX 028-623-3393

6 試験期日及び試験会場

(1) 試験期日及び試験会場（会場へのアクセスは、24 ページを参照）

試験内容(区分等)	試験期日	試験会場
第1次試験 学力試験	7月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市立陽北中学校（宇都宮市今泉町47-2） ・宇都宮市立陽南中学校（宇都宮市陽南2丁目4-58） ・栃木県総合教育センター（宇都宮市瓦谷町1070） ・栃木県立宇都宮工業高等学校（宇都宮市雀宮町52） ・東北福祉大学仙台駅東口キャンパス （宮城県仙台市宮城野区榴岡2丁目5番26号） ※「大学3年生を対象とした特別選考」受験者は栃木県内会場のみ受験可
第2次試験 個人面接①・②	8月21日～23日 のいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県総合教育センター（宇都宮市瓦谷町1070） ・栃木県立宇都宮工業高等学校（宇都宮市雀宮町52）
論文文 〔高等学校教諭、特別支援学校教諭、 養護教諭（高・特）〕	8月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県立宇都宮工業高等学校（宇都宮市雀宮町52）
実技試験 〔中学校教諭及び高等学校教諭の 一部の教科・科目等〕	8月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県総合教育センター（宇都宮市瓦谷町1070） ・宇都宮市立姿川中学校（宇都宮市西川田町1038）

※ 第1次試験会場は、6月中旬頃に送付する「第1次試験通知書（受験票）」にて通知する。

(2) 第1次試験（学力試験の日程）

	8:30	9:10	9:20	10:20	10:40	11:00	11:10	12:00	13:10	14:30	
第1志望小学校教諭 第2志望なし	受			付			諸	注意	一般教養 (教職専門を含む)	昼食・休憩	小学校専門科目
第1志望小学校教諭 第2志望中学校教諭											
第1志望中学校教諭 第2志望小学校教諭	受	諸	注	中学校専門科目			休	息	諸	注意	
第1志望中学校教諭 第2志望なし											
高等学校教諭				高等学校専門科目							
特別支援学校教諭				特別支援学校専門科目							
養護教諭				養護教諭専門科目							

(3) 第2次試験（個人面接・論文文・実技試験の日程）

- ・ 個人面接は8月21日（木）から8月23日（土）までの3日間のうちいずれか1日とし、以下の内容で実施する。集合時間は、第1次試験結果発表時に栃木県教育委員会ホームページに掲載する。また、開始時刻は、個人面接実施日の受付において本人宛て連絡する。
- ・ 高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭（高・特）の受験者は、8月21日（木）の午前中に論文文の試験を実施する。

<論文文>

高等学校教諭、特別支援学校教諭 養護教諭（高・特）	・ 今日的な教育課題等に関して、客観的に自分の意見や考えをまとめるとともに、教師としての資質、能力、意欲を問う。（50分）
------------------------------	---

<個人面接> ※ 指定された日時で実施

小学校教諭、中学校教諭 養護教諭（小・中）	・ 個人面接①「総合的な資質・能力に関する面接」
高等学校教諭、特別支援学校教諭 養護教諭（高・特）	・ 個人面接②「実践的な指導力に関する面接」（各15～20分程度）

<実技試験> ※ 中学校教諭及び高等学校教諭の一部教科・科目等

音楽、美術、書道、保健体育、 情報、技術、電気、機械、建築、 家庭、英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科の専門的な知識・技能に関する実技 ※ 前年度、中学校教諭及び高等学校教諭の音楽、美術、保健体育受験者のうち、第2次試験Aランクの者又は「大学3年生を対象とした特別選考」の合格者で同一区分・教科・科目等で受験する者は実技試験を免除する。 ※ 各実技試験の詳細については、「令和8(2026)年度栃木県公立学校新規採用教員選考基準」又は栃木県教育委員会ホームページに後日掲載される第2次試験の案内を参照すること。
--	---

7 受験心得

以下の「受験心得」をよく確認の上、受験すること。

- 1 自家用車の乗入れは禁止する。また、試験会場周辺の店舗等への無断駐車、また、送迎等のための無断駐車は迷惑となるので厳禁とする。
- 2 試験会場は全て禁煙とする。
- 3 問題配布、答案用紙提出の際は、係員の指示に必ず従い、秩序を乱さないこと。
- 4 答案用紙には受験番号のみ記入し、氏名は書かないこと。
- 5 答案用紙は必ず提出すること。
- 6 不正行為又は誤解をうけるような態度をとらないこと。
- 7 終了時刻以前には退出しないこと。
- 8 消しゴム等用具の貸し借りはしないこと。
- 9 携帯電話は、試験中は電源を切り、カバン等にしまうこと。
- 10 腕時計型端末は時計として使用不可。カバン等にしまうこと。
- 11 第1次試験通知書は受験番号が見えるようにして机の上に置くこと。

以上の「受験心得」に違反した場合は、失格とする場合がある。(第1次試験・第2次試験とも)

8 選考試験の結果

- (1) 第1次試験の結果については、8月上旬頃に栃木県教育委員会ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、不合格者及び「大学3年生を対象とした特別選考」の全受験者に通知を発送する。
- (2) 第1次試験の合格者に対する2次試験の案内は、今年度より通知の発送を行わないため、栃木県教育委員会ホームページに掲載される各種情報を受験者本人がよく確認すること。
- (3) 第2次試験の結果については、9月下旬頃に栃木県教育委員会ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、第2次試験の全受験者に通知を発送する。
- (4) 第2次試験不合格者に対しては、選考試験の結果を総合成績のランクでA、B、Cの3段階に分けて通知する。なお、A、B、Cのランクは次のとおりである。

A：不合格者の中で上位である
B：不合格者の中で中位である
C：不合格者の中で下位である

- (5) 試験の結果については、口頭での情報提供を求めることができる。(下表参照) 情報提供を希望する場合は、受験者本人が、本人であることを確認できる書類(運転免許証等)及び第1次試験については第1次試験結果通知書、第2次試験については第2次試験結果通知書を持参して、栃木県教育委員会事務局義務教育課又は高校教育課に来課すること。

申出ができる方	提供内容	提供期間及び時間	提供場所
第1次試験 <u>不合格者</u>	・学力試験の得点 (一般教養及び専門科目)	第1次試験結果通知日から1か月間 ・午前10時から正午まで ・午後1時から午後5時まで (土・日・祝日及び8月12日から 15日までの期間を除く)	栃木県教育委員会事務局 (栃木県庁舎南別館3階) ・小学校、中学校の受験者 義務教育課人事担当
第2次試験 <u>全受験者</u>	・個人面接①・②の評価 ・論作文の評価 ・第2次試験の実技試験の得点	第2次試験結果通知日から1か月間 ・午前10時から正午まで ・午後1時から午後5時まで (土・日・祝日を除く)	・高等学校、特別支援学校の 受験者 高校教育課人事担当

9 その他

- ・ 障害のある方、また、受験の際に配慮を希望する方は、栃木県教育委員会に相談すること。

10 特別選考

A-1 障害のある方を対象とした特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目及び人員
全ての募集区分・教科・科目合わせて 20 名程度
(併願については、1ページの「3 選考区分及び併願、選考概要」の(2)を参照すること。)
- (2) 受験資格
1ページの「2 受験資格」を満たし、次に掲げるいずれかの手帳等（採用時に有効であること）の交付を受けている者。
ア 身体障害者手帳の交付を受け、その障害が1級から6級までの者。
イ 療育手帳の交付を受けている者。
ウ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者。
- (3) 提出書類・出願手続き
・ 交付を受けている手帳のコピーを提出すること。
・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「障害のある方を対象とした特別選考」と入力するとともに、「障害のある方記入欄」に障害の内容や受験の際に配慮を希望する内容を入力すること。
- (4) 選考試験
・ 選考試験は上記の第1次試験から一般の受験者と同じ期日、同じ会場で行うが、障害の種類や程度等に応じた配慮を行う。

(配慮例)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 別の試験室での試験実施、障害の種類による試験時間の延長、座席の配置 等・ 視覚に障害のある方…問題の点字訳、文字・用紙の拡大 等・ 聴覚に障害のある方…手話通訳 等 |
|--|
- ・ 障害の種類に応じて、実技試験等を免除あるいは軽減する場合がある。（第2志望の場合も同様）
 - ・ 募集、選考は1ページの「1 募集区分・教科・科目及び人員」のとおり別枠で行う。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

A-2 小学校における英語教育に係る特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目及び人員
小学校 30 名程度(第2志望を小学校(一般)又は中学校(一般)の英語として併願可)
- (2) 受験資格
1ページの「2 受験資格」を満たし、次の各号の全てに該当する者。
ア 小学校教諭免許状を既に取得又は令和8(2026)年3月31日までに取得見込み確実の者。
イ 中学校教諭又は高等学校教諭の英語の普通免許状等を既に取得又は令和8(2026)年3月31日までに取得見込み確実の者。
- (3) 提出書類・出願手続き
・ 英語の普通免許状等のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。前年度に、同一の特別選考を受験した者は、上記書類の提出を省略することができる。ただし、前年度の受験番号を必ず入力すること。
・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「小学校における英語教育に係る特別選考」と入力するとともに、第1志望校種に必ず小学校と入力すること。また、第2志望により、小学校又は中学校の一般選考を併願する場合は、第2志望校種に小学校又は中学校を入力すること。なお、中学校を志望した場合は受験教科・科目を英語と入力すること。
- (4) 選考試験
・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。
・ 募集、選考は1ページの「1 募集区分・教科・科目及び人員」のとおり別枠で行う。

A-3 特別支援学級担当に係る特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目及び人員
小・中学校の全教科合わせて20名程度(第2志望を小学校(一般)又は中学校(一般)として併願可)
- (2) 受験資格
1ページの「2 受験資格」を満たし、小・中学校の特別支援学級担当を強く希望する者で、次のア、イのいずれかに該当する者。
ア 特別支援学校教諭免許状を既に取得又は令和8(2026)年3月31日までに取得見込み確実の者。
イ 令和7(2025)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受けた者。(ただし、前年度に「特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考」を第1志望とした者に限る。)
- (3) 提出書類・出願手続き
- ・ 自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードしたもの)を提出すること。
 - ・ (2)のアに該当する者は、特別支援学校教諭免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
 - ・ (2)のイに該当する者は、「令和7(2025)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)」に記載してある前年度の受験番号を必ず入力すること。
 - ・ 前年度に、「特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考」を、受験資格ア(特別支援学校教諭免許状を既に取得又は令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者)で受験した者は、特別支援学校教諭免許状のコピーの提出を省略することができる。ただし、前年度の受験番号を必ず入力すること。
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「特別支援学級担当に係る特別選考」と入力すること。
- (4) 選考試験
- ・ 書類選考の結果、(2)のアの対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。また、(2)のイの対象となった者は、第1次試験を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。
 - ・ 募集、選考は1ページの「1 募集区分・教科・科目及び人員」のとおり別枠で行う。
- ※ 本特別選考で合格した者は、原則として一定期間、栃木県公立小・中学校の特別支援学級担任として配置する。

B-1 講師等経験者特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目
全ての募集区分・教科・科目(小・中学校受験者は、第2志望を小学校(一般)又は中学校(一般)として併願可)
- (2) 受験資格
1 ページの「2 受験資格」を満たし、次に該当する者。
 - ・ 令和4(2022)年4月1日から令和7(2025)年3月31日までの3年間に栃木県内の公立学校及び同県内の国立大学附属学校において、常勤の講師等(非常勤講師を除く)として通算で12月以上の勤務経験がある者。(区分は問わない)
- (3) 提出書類・出願手続き
 - ・ 自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードしたもの)及び勤務状況報告書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードし、所属長が証明したもの)を提出すること。
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「講師等経験者特別選考」と入力すること。
- (4) 選考試験
 - ・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

B-2 特定の資格や経歴による特別選考

I 普通免許状等の所有の有無に関わらない選考

※ 1 ページの「2 受験資格」の(1)と(3)を満たし、(2)の普通免許状等を持たず下記のいずれかの要件を満たす者も受験資格を有する。なお、合格後、令和8(2026)年3月31日までに栃木県教育委員会が発行する当該特別免許状を取得できなかった場合は採用しない。

- (1) 募集区分・教科・科目
 - a 高等学校の家庭 b 高等学校の福祉 c 高等学校の電気、機械、建築
 - d 高等学校の商業 e 高等学校の情報
- (2) 受験資格
1 ページの「2 受験資格」の(1)と(3)を満たし、次に該当する者。
 - a 高等学校の家庭
 - ・ 専門調理師資格を有する者又は調理師資格を有する者で調理師として10年以上実務経験のある者。(実務経験は令和8(2026)年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)
 - b 高等学校の福祉
 - ・ 介護福祉士資格を有し、介護福祉士として5年以上の実務経験のある者又は看護師等(医師・保健師・助産師及び看護師)の資格を有し、看護師等として5年以上の実務経験のある者。(実務経験は令和8(2026)年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)
 - c 高等学校の電気、機械、建築
 - ・ 大学を卒業している者又は令和8(2026)年3月31日までに卒業見込みの者で、工業の教科についての高度な専門的知識・技能を有し、民間企業、官公庁(教育関連機関を除く)等に常勤として7年以上の実務経験のある者。(実務経験は令和8(2026)年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)
 - d 高等学校の商業
 - ・ 大学を卒業している者又は令和8(2026)年3月31日までに卒業見込みの者で、商業の教科についての高度な専門的知識・技能を有し、民間企業、官公庁(教育関連機関を除く)等に常勤として7年以上の実務経験のある者。(実務経験は令和8(2026)年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)

e 高等学校の情報

- ・ 独立行政法人情報処理推進機構が実施する、次の情報処理技術者国家試験に合格した者のうち、情報システムの開発、保守、又は運用に関わる職に、3年以上の実務経験のある者。（実務経験は令和8(2026)年3月31日までに常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。）

基本情報技術者、応用情報技術者、ITストラテジスト、システムアーキテクト、プロジェクトマネージャ、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、エンベデッドシステムスペシャリスト、ITサービスマネージャ、システム監査技術者、情報処理安全確保支援士

(3) 提出書類・出願手続き

ア a 高等学校の家庭

- 1 専門調理師の資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。)を提出すること。
- 2 調理師の資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。)、実務経験を証明する書類(A4判様式自由)を提出すること。

b 高等学校の福祉

- ・ 介護福祉士又は看護師等の資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。)及び5年以上の実務経験を証明する書類(A4判様式自由)を提出すること。

c 高等学校の電気、機械、建築

- ・ 7年以上の実務経験を証明する書類(A4判様式自由)、自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。)を提出することとし、教科についての高度な専門的知識・技能に関する資格等を有している者については、資格取得を証明する書類(コピー可)を提出すること。

d 高等学校の商業

- ・ 7年以上の実務経験を証明する書類(A4判様式自由)、自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。)を提出することとし、教科についての高度な専門的知識・技能に関する資格等を有している者については、資格取得を証明する書類(コピー可)を提出すること。

e 高等学校の情報

- ・ 資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。)及び3年以上の実務経験を証明する書類(A4判様式自由)を提出すること。

- イ 教員選考願書の特別選考志望欄に「特定の資格や経歴による特別選考」と入力すること。また、前年度に、同一の特別選考を受験した者は、実績を証明する書類の提出を省略することができる。ただし、前年度の受験番号を必ず入力すること。

(4) 選考試験

- ・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。家庭、福祉、工業、商業、情報の普通免許状等を所有する者又は令和8(2026)年3月31日までに取得見込み確実の者で書類選考の結果対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛てに通知する第1次試験通知書で確認すること。

II 国際貢献活動等の経験による選考

(1) 募集区分・教科・科目

全ての募集区分・教科・科目(小・中学校受験者は、第2志望を小学校(一般)又は中学校(一般)として併願可)

(2) 受験資格

1 ページの「2 受験資格」を満たし、令和2(2020)年4月1日から令和7(2025)年3月31日までの5年間に、次のいずれかに該当する者。(ただし、教育に関する勤務・活動を行ってきた者。)

ア 在外日本人教育施設、海外の公的機関において、通算2年以上の勤務経験がある者。

イ 独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊、海外協力隊、日系社会青年海外協力隊、日系社会海外協力隊又はシニア海外協力隊、日系社会シニア海外協力隊として通算で2年以上の派遣実績がある者。

(3) 提出書類・出願手続き

- ・ 経験、実績を証明する書類(A4判様式自由)及び自己推薦書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。)を提出すること。前年度に、同一の特別選考を受験した者は、実績を証明する書類の提出を省略することができる。ただし、前年度の受験番号を必ず入力すること。
- ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「特定の資格や経歴による特別選考」と入力すること。

(4) 選考試験

- ・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

Ⅲ スポーツの実績による選考

(1) 募集区分・教科・科目

中学校・高等学校の全ての教科・科目(第1志望が中学校の者は、第2志望を小学校(一般)として併願可)

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」を満たし、次のア、イのいずれかに該当し、かつ、ウの要件を満たした者。

ア 国際大会(オリンピック競技大会、アジア競技大会、及び、これに準ずる大会)に日本代表として出場した者。

イ 全国大会(全日本選手権大会、国民スポーツ大会(旧国民体育大会)、及び、これに準ずる大会)において、競技者(団体競技の場合は正選手)として出場し、団体又は個人でベスト4以上の成績を収めた者。

ウ 競技種目は、国民スポーツ大会実施競技(特別競技も含む。)とする。

(3) 提出書類・出願手続き

- ・ 実績をまとめたもの(A4判様式自由で1枚。校種、氏名を明記。)と、大会要項及び競技団体が発行する成績証明書等、実績を証明できるものを添付して提出すること。
- ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「特定の資格や経歴による特別選考」と入力すること。

(4) 選考試験

- ・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。ただし、保健体育で出願する者は第2次試験の実技試験も免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全て、保健体育で出願する者は第2次試験の実技試験を受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

C-1 大学推薦特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目
小学校及び中学校（美術、技術、家庭）（併願不可）、高等学校（英語、情報）
- (2) 推薦基準
 - ・ 現に大学等に在籍し、人物及び学業成績が特に優秀である者のうち、大学等が推薦する者。
- (3) 提出書類・出願手続き
 - ・ 「大学推薦特別選考実施要項」が送付された大学等で、必要書類をとりまとめて提出すること。
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「大学推薦特別選考」と入力すること。
- (4) 選考試験
 - ・ 書類選考の結果対象となった者は、小学校及び中学校（美術、技術、家庭）は第1次試験を免除し、高等学校（英語、情報）は第1次試験の一般教養試験を免除する。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

C-2 前年度大学3年生選考通過者による特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目
全ての募集区分・教科・科目（併願不可）
- (2) 受験資格
 - 1ページの「2 受験資格」を満たし、次に該当する者。
 - ・ 令和7(2025)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の「大学3年生を対象とした特別選考」において合格となった者で、前年度と同一の募集区分・教科・科目等を志望する者。
- (3) 提出書類・出願手続き
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「前年度大学3年生選考通過者による特別選考」と入力するとともに、「令和7(2025)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について（通知）」に記載してある前年度の受験番号を必ず入力すること。
 - ・ 特例制度での出願を希望する場合は、教員選考願書の特例の欄に「大学院進学者に対する特例」と入力すること。
- (4) 選考試験
 - ・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験を免除する。前年度受験した募集区分・教科・科目等において募集がなく、異なる募集区分・教科・科目等で受験となる場合は、第1次試験の一般教養試験を免除する。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

C-3 前年度第2次試験Aランク特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目
全ての募集区分・教科・科目（併願不可）
- (2) 受験資格
 - 1ページの「2 受験資格」を満たし、次に該当する者。
 - ・ 令和7(2025)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受け、令和8(2026)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において同一の募集区分・教科・科目等を志望する者。
- (3) 提出書類・出願手続き
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「前年度第2次試験Aランク特別選考」と入力するとともに、「令和7(2025)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について（通知）」に記載してある前年度の受験番号を必ず入力すること。
- (4) 選考試験
 - ・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験を免除する。ただし、加点制度の「(2)申請資格」の「ア 情報免許」で前年度申請し、本選考を受験する者は、※で記載した要件を引き継ぐものとする。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

C-4 現職教諭等特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目
全ての募集区分・教科・科目(併願不可)
- (2) 受験資格
1 ページの「2 受験資格」を満たし、次に該当する者。
 - ・ 都道府県(栃木県は除く)又は指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、現在、正規任用の主幹教諭、指導教諭、教諭又は養護教諭(いずれも、臨時的任用教職員及び非常勤講師を除く)として勤務し、都道府県(栃木県を除く)又は政令指定都市において、令和8(2026)年3月31日まで継続して3年以上(休職、育休等の期間を除く)の勤務が見込まれる者。ただし、受験する校種・教科・科目と同一の教職経験を2年以上有している者とする。
- (3) 提出書類・出願手続き
 - ・ 在職証明書(様式自由、任命権者が証明した者に限る。所属長等が証明したものは不可。)を提出すること。
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「現職教諭等特別選考」と入力すること。
- (4) 選考試験
 - ・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

C-5 育児・介護等の事由による退職者を対象とした特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目
全ての募集区分・教科・科目(併願不可)
- (2) 受験資格
1 ページの「2 受験資格」を満たし、次の各号の全てに該当する者。
 - ア 栃木県の公立学校の教諭、養護教諭(いずれも正規教員)として、受験する校種・教科・科目と同一の教職経験を5年以上有している者。(休職、育休等の期間は除く)
 - イ 育児・介護等(育児、介護、家族の転勤等による転居)を理由にして退職した者で、次のいずれかに該当する者。
 - ① 出願時に退職した年度の翌年度から10年以内の者。
 - ② 出願時に退職した年度の翌年度から10年を越えた場合においても、令和4(2022)年4月1日から令和7(2025)年3月31日までの3年間に栃木県内の公立学校の講師(非常勤講師を含む)、助教諭、養護助教諭として通算で12月以上の勤務経験がある者。
- (3) 提出書類・出願手続き
 - ・ 自己申告書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。)を提出すること。
 - ・ (2)イの②に該当する者は勤務状況報告書(栃木県教育委員会ホームページからダウンロードし、所属長が証明したもの)を提出すること。
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「育児・介護等の事由による退職者を対象とした特別選考」と入力すること。
- (4) 選考試験
 - ・ 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験を免除し、第2次試験では実技試験を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

D 大学3年生を対象とした特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目
全ての募集区分・教科・科目(小・中学校受験者は、第2志望を小学校(特別)又は中学校(特別)として併願可)
- (2) 受験資格について
 次の各号の全てに該当する者。
 ア 大学3年生以上で令和9(2027)年3月31日までに大学等を卒業する見込の者。
 イ 昭和42(1967)年4月2日以降に生まれた者。
 ウ 志望する学校種別(小・中・高)、教科・科目等に相当する普通免許状又は特別免許状(以下「普通免許状等」という。)を取得した者又は令和9(2027)年3月31日までに取得見込み確実の者。ただし、特別支援学校においては、特別支援学校普通免許状と、志望する部(小・中・高)、教科・科目等に相当する普通免許状等を取得した者又は取得見込み確実の者。なお、高等学校における保健体育を志望する者は保健体育の普通免許状等、電気、機械、建築を志望する者は工業の普通免許状等、商業を志望する者は商業の普通免許状等を取得した者又は取得見込み確実の者。
 エ 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者。
- (3) 提出書類・出願手続き
 ・ 大学が発行する在学証明書を提出すること。
 ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「大学3年生を対象とした特別選考」と入力すること。
 ※ 加点制度の申請は不可。
- (4) 選考試験
 ・ 第1次試験の全てを受験するものとする。
 ・ 本選考を受験する者は、栃木県会場のみ受験可とする。
- (5) その他
 ・ 本選考の第1次試験の合格者は、同一の募集区分・教科・科目等での受験に限り、次年度の第1次試験を免除する。また、特例制度での出願を検討している者については、「前年度大学3年生選考通過者による特別選考」の出願時に申請を行うこととする。
 ・ 今年度受験した募集区分・教科・科目等において、次年度の募集がない場合には、第1次試験合格者であってもその募集区分・教科・科目等で受験することはできない。この場合に限り、次年度に異なる募集区分・教科・科目等で受験する場合は、第1次試験の一般教養を免除で受験することができる。
 ・ 書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する第1次試験通知書で確認すること。

<出願の注意点及び選考の流れ>

- ・ 大学3年次等に前倒して、第1次試験の「一般教養」と「専門科目」を受験することができる。
- ・ 大学3年次の選考において、一定の点数を取った受験者を、「前年度大学3年生選考通過者」とする。
- ・ 前年度通過した選考試験と同一の募集区分・教科・科目等で受験する場合に限り、大学4年次の第1次試験を免除する。なお、大学4年次の受験に当たっては、「前年度大学3年生選考通過者による特別選考」として、出願手続きを行うこと。

【大学3年次】(令和7年度実施試験)
 D 大学3年生を対象とした特別選考

第1次試験		第2次試験
一般教養	専門科目	
○	○	—

選考通過者

【大学4年次】(令和8年度実施試験)
 C-2 前年度大学3年生選考通過者による特別選考

第1次試験		第2次試験
一般教養	専門科目	
—	—	○

不合格者

一般選考又は特別選考

第1次試験		第2次試験
一般教養	専門科目	
△	○	○

※ 表中の「△」については、一部の特別選考で免除となる場合がある。

11 特例制度

1 大学院在学者に対する特例

- (1) 募集区分・教科・科目
全ての募集区分・教科・科目
- (2) 資格要件
1 ページの「2 受験資格」を満たし、次の各号の全てに該当する者。
ア 令和 8 (2026) 年度栃木県公立学校教員採用試験に合格した者が、引き続き大学院修士課程又は教職大学院の課程での修学を希望する場合。
イ 国内の大学院修士課程又は教職大学院の課程において修学中であり、すでに応募校種・教科の免許を取得している者で、令和 9 (2027) 年 3 月 31 日までに大学院修士課程又は教職大学院の課程を修了し、修士又は教職修士の学位を授与されること。
ウ 合格した校種・教科の専修免許が取得できること。
- (3) 提出書類・出願手続き
・ 令和 8 (2026) 年度栃木県公立学校教員採用試験に合格後、採用延期願（栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。）を提出すること。
・ 教員選考願書の特例の欄に「大学院在学者に対する特例」と入力すること。
- (4) 特例の内容
・ 令和 9 (2027) 年度採用予定者として採用を延期する。
- ※ 延期期間終了までに（2）イ、ウの要件を満たさなかった場合は、採用内定を無効とする。

2 大学院進学者に対する特例

- (1) 募集区分・教科・科目
全ての募集区分・教科・科目
- (2) 資格要件
1 ページの「2 受験資格」を満たし、次の各号の全てに該当する者。
ア 令和 8 (2026) 年度栃木県公立学校教員採用試験に合格した者が、国内の大学院（教職大学院を含む）への進学を希望する場合。
イ 令和 10 (2028) 年 3 月 31 日までに大学院修士課程又は教職大学院の課程を修了し、修士又は教職修士の学位を授与されること。
ウ 合格した校種・教科の専修免許が取得できること。
- (3) 提出書類・出願手続き
・ 令和 8 (2026) 年度栃木県公立学校教員採用試験に合格後、採用延期願（栃木県教育委員会ホームページからダウンロードすること。）を提出すること。
・ 教員選考願書の特例の欄に「大学院進学者に対する特例」と入力すること。
- (4) 特例の内容
・ 令和 10 (2028) 年度採用予定者として採用を延期する。
- ※ 延期期間終了までに（2）イ、ウの要件を満たさなかった場合は、採用内定を無効とする。
※ 令和 7 (2025) 年 12 月末までに大学院（教職大学院を含む）への進学が決定することを原則とする。

12 加点制度

<必要書類の提出に係る注意事項>

- ・ 加点制度の申請者のうち以下に該当する者は、提出書類の一部を省略することができる。ただし、願書作成時に、前年度の受験番号を必ず入力すること。

- 前年度加点制度の対象となり、免許状及び修了書の写しや資格を証明する書類を提出した者（ただし、英語特定資格については、前年度提出書類の取得年月日が該当期間内である者に限る。）

(1) 申請可能区分

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭

※ 「大学3年生を対象とした特別選考」受験者は除く。

(2) 申請資格 ※ア～キのいずれか1つのみ申請可

1ページの「2 受験資格」を満たし、次のア、イ、ウ、エ、オ、カ、キのいずれかに該当する者。

ア 情報免許

高等学校（国語、地理、歴史、公民、数学、物理、化学、生物、音楽、書道、保健体育、家庭、英語）の志願者で、情報の普通免許状を既に取得又は令和8（2026）年3月31日までに取得見込み確実の者。

※ 本加点制度を利用して合格した者は、受験した教科以外に、情報の授業を担当することもある。

イ 調理師免許

高等学校（家庭）の志願者で、調理師の資格を既に取得している者。

ウ 英語特定資格

中学校・高等学校の英語（小学校と中学校を併願した場合、中学校を第1志望とする）の志願者で、下記①～③のいずれかの資格を有する者。ただし、①②については令和3（2021）年4月1日以降に資格を取得した者。

	中学校英語	高等学校英語
① TOEFL	550点以上（iBT80点以上）	600点以上（iBT100点以上）
② TOEIC	730点以上取得者（IPテストは不可）	900点以上取得者（IPテストは不可）
③ 実用英語技能検定 （（公財）日本英語検定協会）	準1級合格者	1級合格者

エ 小中両免許

小学校又は中学校の志願者で、小学校及び中学校の両方の普通免許状を既に取得又は令和8（2026）年3月31日までに取得見込み確実の者。

オ 特支免許

小学校、中学校又は高等学校の志願者で、特別支援学校の普通免許状を既に取得又は令和8（2026）年3月31日までに取得見込み確実の者。

カ 小・中・高免許

特別支援学校の志願者で、小学校、中学校、高等学校の3つの普通免許状を既に取得又は令和8（2026）年3月31日までに取得見込み確実の者。

キ 司書教諭資格

小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の志願者で、学校図書館司書教諭の資格を有する者。（取得見込は申請不可）

(3) 提出書類

- ・ (2)のアに該当する者は、情報の普通免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
- ・ (2)のイに該当する者は、調理師の資格を証明する書類のコピーを提出すること。
- ・ (2)のウに該当する者は、①～③のいずれかを証明する書類のコピーを提出すること。
- ・ (2)のエに該当する者は、小学校と中学校両方の免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
- ・ (2)のオに該当する者は、特別支援学校の免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
- ・ (2)のカに該当する者は、小学校、中学校、高等学校の3つの免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
- ・ (2)のキに該当する者は、修了証書のコピーを提出すること。

(4) 加点の内容

- ・ (2)のアにおいて、書類審査の結果対象となった者には、第1次試験の専門科目の得点に10点を加点する。
- ・ (2)のイ～キにおいて、書類審査の結果対象となった者には、第1次試験の専門科目（併願の者は第1志望の専門科目）の得点に5点を加点する。

【2 教員選考願書等作成の注意事項と印刷例等】

1 教員選考願書等作成の注意事項

- (1) 願書は、3ページの「5 出願手続及び出願方法」を確認の上、「栃木県電子申請システム」で作成すること。（「栃木県電子申請システム」に入力した内容が願書に反映されます。）
- (2) 併願は、1ページの「3 選考区分及び併願、選考概要」の場合のみ認める。その際、願書が下記に示した例のように入力されているか確認すること。

<例1>

「一般選考」で、第1志望を小学校、第2志望を中学校（理科）で併願する場合

受付印	※			教員選考願書	
第1志望校種 受験教科・科目	小学校				
第2志望校種 受験教科・科目	中学校		理科		

<例2>

「特別選考」の「小学校における英語教育に係る特別選考」で第1志望を「特別選考」の小学校、第2志望を「一般選考」の中学校英語で併願する場合

受付印	※			教員選考願書	
第1志望校種 受験教科・科目	小学校				
第2志望校種 受験教科・科目	中学校		英語		
特別選考 志望	区分	A	2. 小学校における英語教育に係る特別選考		

<例3>

「特別選考」の「特別支援学級担当に係る特別選考」で第1志望を「特別選考」の小学校、第2志望を「一般選考」の小学校で併願する場合

受付印	※			教員選考願書	
第1志望校種 受験教科・科目	小学校				
第2志望校種 受験教科・科目	小学校				
特別選考 志望	区分	A	3. 特別支援学級担当に係る特別選考		

<例4>

「特別選考」の「大学3年生を対象とした特別選考」で第1志望を「特別選考」の中学校の数学、第2志望を「一般選考」の小学校で併願する場合

受付印	※			教員選考願書	
第1志望校種 受験教科・科目	中学校		数学		
第2志望校種 受験教科・科目	小学校				
特別選考 志望	区分	D	1. 大学3年生を対象とした特別選考		

- (3) 特別選考のうち「障害のある方を対象とした特別選考」と他の特別選考を併せて出願する場合は、他の特別選考名を「特別選考志望」の欄に入力し、「障害のある方を対象とした特別選考」の併願を希望していることを、「障害のある方記入欄」に忘れずに入力すること。
- (4) 年齢は、令和8(2026)年4月1日現在の満年齢とすること。

- (5) 複数校の大学等を卒業・修了等している場合の「最終学校」は、以下の例を参照しながら該当する大学名等を入力すること。（最終学歴は「学士」や「修士」を取得した大学等）

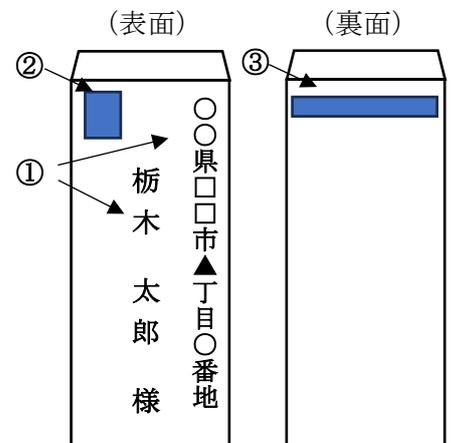
	経 歴	最終学校
例 1	A大学卒業後、B大学（通信制大学を含む）の科目等履修生	A大学
例 2	A大学卒業後、A大学大学院修了（修了見込み）	A大学大学院
例 3	A大学卒業後、B大学卒業	B大学
例 4	A大学卒業後、B大学通信課程修了	A大学
例 5	C専門学校卒業後、D教員養成機関卒業	D教員養成機関

- (6) 現住所、その他連絡先（帰省先等）は、正確に入力すること。電話番号については、必ず連絡がつく電話番号を入力すること。
- (7) 教員免許状は、「栃木県電子申請システム」の手順に従って入力すること。取得見込みの場合は、取得（見込）年月日を令和8年3月31日とすること。（「大学3年生を対象とした特別選考」に出願する受験者は、令和9年3月31日とすること。）
- (8) 願書をA4用紙に片面で印刷し、願書及び受験者カードに所定の写真（パスポート規格サイズで、たて4.5cm×よこ3.5cm、カラーに限る。）を貼付すること。受験者カードは、切り取り線に従って切り取ること。
- (9) 願書の署名欄は、出願する本人が必ず自筆で記入すること。

2 郵送時の確認事項

- (1) のり付きの長形3号封筒（23.5cm×12.0cm）を2通準備する。

- ① 表面に、宛先（自分の住所と名前）を記入する。
- ② 110円分の切手を貼付する。
- ③ 裏面の「のり（両面テープ）」を確認する。



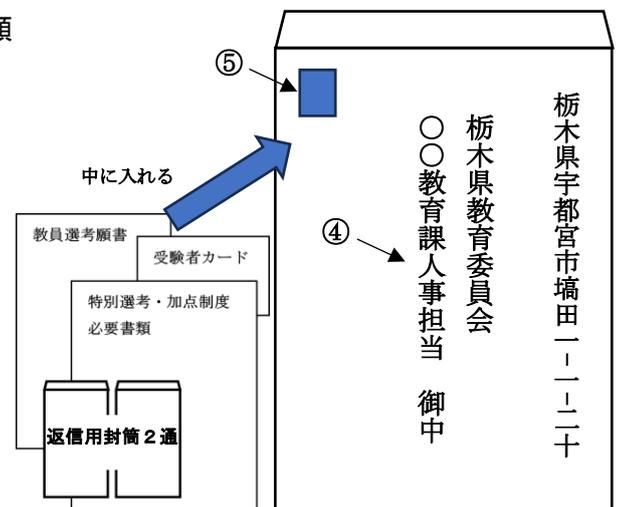
- (2) 教員選考願書及び受験者カードに「写真」が貼付されているか、教員選考願書の署名欄に自筆で署名をしているか確認する。

- (3) 特別選考及び加点制度の申請者は、必要書類を準備する。

- ・ 自己推薦書、勤務状況報告書、自己申告書
- ・ 免許状の写し、資格等の証明書、その他必要な書類

- (4) 角形2号封筒（33.2cm×24.0cm）を1通準備する。

- ④ 表面に宛先（要項3ページ参照）を記入する。
- ⑤ 郵送に必要な切手を貼付する。
- ⑥ 裏面に送り主（自分の住所と名前等）を記入する。



- (5) 確認作業が終わった書類等を、(4)に全て入れて郵送する。郵送の際は、料金不足で返送されないことがないように、郵便局の窓口等で郵送する。

3 願書等印刷例

< 教員選考願書 >

特学		小中加		中英		
・志望校種、特別選考、特例、加点制度の記載に誤りがないように入力すること。 ・併願は、要項1ページを確認すること。				※ 受験番号		
教員選考願書				所定の写真を貼付すること。		
第1志望校種 受験教科・科目	中学校		英語			
第2志望校種 受験教科・科目	小学校					
特別選考 志望	区分	△	〇〇〇〇特別選考	1234		
特例	△△△に対する特例制度		□□□□□ (〇点)			
第1次試験 希望会場	栃木県会場		加点	1234		
・申請書類を省略する場合は必ず入力すること。				令和8年4月1日現在で 入力すること。		
氏名	栃木 太郎		トチギ タロウ	生年月日	平成4年6月15日	
年齢	33					
最終学校	◇◇大学		〇〇学部	△△学科	□□コース	
・要項17ページを参考にしながら正しく入力すること。				平成28年	3月	
卒業						
現住所	3208501	栃木県宇都宮市埴田1-1-20				
その他 連絡先	3200000	〇〇県△△市□□1-1				
・現住所と試験時の帰省先等が異なる場合は入力すること。(連絡先を含む)						
電話番号	07011112222		0286112222		国籍	
日本						
教員免許状	種類	中学校教諭1種免許状	教科	英語		
	取得(見込)年月日	平成28年3月31日				
	種類	特別支援学校教諭1種免許状	教科	知的		
	取得(見込)年月日	平成28年3月31日				
種類	小学校教諭1種免許状					
・取得(見込)の免許状を全て入力すること。 ・1行目は「第1志望校種に係る免許状」 ・2行目は「特別支援学校教諭の免許状」 ・3行目から5行目には、「その他の免許状」のうち、関連の高い順に3つまで入力すること。						
現職区分	公立学校講師					
その他特記事項	教員免許以外の免許資格					
教員免許以外の免許資格	その他(普通自動車免許、漢字能力検定)					
免許教科以外で得意とする教科	数学、理科					
特技	バスケットボール、ICT機器の操作					
クラブ・部・ボランティア活動等歴及び職歴調書						
	クラブ・部等の所属及び職歴			活動内容		
中学校	・スポーツ、文化、ボランティア活動等について、クラブ・部・サークル名を入力すること。 ・大学院や社会人の職歴については、「卒業後」の欄に入力すること。			・教育に生かせる一芸一能などの特技、実績、業績を具体的に入力すること。(スポーツ、芸術等における出場記録、成績、役割、ボランティア活動の経験、情報処理、機械、設計等の優れた技能及び職歴経験、その他の活動状況など) ・主なものに絞ったり、内容をまとめたりした上で文字が切れないように注意すること。		
高等学校						
大学						
卒業後						

(注) 願書上部枠外にも、志望校種や特別選考、加点制度等について、入力した内容が反映されて記載されます。事務手続上必要な情報となりますので、そのまま提出してください。

< 履 歴 書 >

履歴書

中英特学小中加 栃木太郎

始期	終期	学歴・職歴・その他
平成11年4月1日	平成17年3月31日	〇〇市立△△小学校
平成17年4月1日	平成20年3月31日	〇〇市立△△中学校
平成20年4月1日	平成23年3月31日	栃木県立△△高等学校
平成23年4月1日	平成28年3月31日	◇◇大学 〇〇学部 △△学科 □□コース 卒業 (海外留学により1年休学)
平成28年4月1日	平成30年3月31日	〇〇市立△△小学校 講師
平成30年4月1日	令和3年3月31日	〇〇市立◇◇中学校 非常勤講師
令和3年4月1日	令和8年3月31日	栃木県立〇〇特別支援学校 講師 同講師退職予定
<p>・ 小学校入学以後の履歴について、令和8年3月31日まで暦年順に空白期間がないように入力すること。（「アルバイト」や「家事従事」等も含む。）</p> <p>・ 職業に就きながら通信教育、定時制又は夜間の学校等に在学した場合には、その両方を入力すること。</p> <p>・ 原級にとどまったような時は、その理由を入力すること。</p>		
<p>・ 「A-1 障害のある方を対象とした選考」で出願する者は、配慮を希望する具体的な内容等を入力すること。</p> <p>※上記とは別に、事情により受験の際に配慮を希望する者についても、その内容を入力すること。</p>		

障害のある方記入欄（障害のある方、事情により受験の際に配慮を希望する方は、詳しく記入してください。）

--

刑罰・処分歴 無

年 月 日	刑罰・処分の内容
	<p>・ 本県や他都道府県において、過去に刑罰や処分歴がある場合には、判決確定年月日又は処分年月日とその内容を入力すること。</p>

私は教員を志望していますので選考していただきたく必要書類を添えてお願いします。
 なお、書類記載事項は真実でありかつ正確であることを誓います。
 また、私は地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の各号に該当していません。

令和 年 月 日

栃木県教育委員会 様

・ 出願する本人が必ず自筆で記入すること。

自筆署名

- 履歴事項は正しくもれなく記入すること。また、記入欄が不足するときは、別紙に同様式で作成し、併せて郵送すること。貼付けやホチキス止めは不要。
- この教員選考願書に、故意による虚偽の記載をした場合、記載内容の秘匿があった場合等においては、合格・採用を原則無効とする。

< 受験者カード・提出書類チェックリスト >

<p style="text-align: center;">写 真 ※カラー写真に限る ※写真裏面に記名する</p> <p style="text-align: center;">提出前6カ月以内に撮影 したものを貼る。 (脱帽・胸上)</p> <p style="text-align: center;">パスポート規格サイズ たて 4.5cm よこ 3.5cm</p>		中英特学小中加			
		受 験 者 カ ー ド			
		受験番号	トチギ タロウ		
		※	栃木 太郎		
生年 月日	平成4年6月15日		年齢	33	
(令和8年4月1日現在)					
最終 学校	◇◇大学 ○○学部 △△学科 □□コース 平成28年 3月 卒業				

↑この枠線に沿って切り取る

提出書類 チェックリスト (このチェックリストは提出不要)

(1) 教員選考願書

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 履歴は <u>小学校入学以後</u> から入力する | <input type="checkbox"/> 履歴の最終終期は <u>令和8年3月31日</u> になっている |
| <input type="checkbox"/> A4サイズ <u>片面印刷</u> でプリントアウトする | <input type="checkbox"/> 所定の <u>写真</u> (カラーに限る) を貼る |
| <input type="checkbox"/> 署名欄に日付と氏名を <u>自筆</u> で記入する | <input type="checkbox"/> ステータブラ等で綴じない |

(2) 受験者カード

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 所定の <u>写真</u> (カラーに限る) を貼る | <input type="checkbox"/> 枠線に沿って <u>切り取る</u> |
|---|---|

(3) 連絡用定形封筒

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> <u>長形3号</u> (23.5cm×12cm) のりつきを <u>2通</u> 準備する | <input type="checkbox"/> それぞれに <u>110円切手</u> を貼る |
| <input type="checkbox"/> 郵便番号・宛先住所・宛名を <u>明記</u> する | <input type="checkbox"/> 宛名には <u>様</u> をつける (行、宛にしない) |

(4) その他必要書類

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 特別選考、加点制度、特例等出願者 <u>要項を確認</u> し準備する |
|--|

(注) 1 提出書類不備のもの及び記入事項に不正があったものは受け付けないか、合格後であっても、合格を取り消すことがある。
2 受け付けた書類は返却しない。

【3 採用及び勤務条件】

1 採用

- (1) 合格者は、令和8(2026)年4月1日付け採用とする。
- (2) 病気、妊娠出産等、特別な事情があるときは、令和9(2027)年3月31日まで採用を延期する場合がある。
- (3) 選考試験に合格した者であっても、次のア～オのいずれかに該当する場合には、合格・採用を原則無効とする。
ア 地方公務員法第16条又は学校教育法第9条に定める欠格事項に該当することとなった場合。
イ 令和8(2026)年3月31日までに卒業できなかった場合、令和8(2026)年3月31日までに合格した学校種別及び部(小・中・高)の相当する普通免許状等(特別支援学校合格者は特別支援学校普通免許状)が取得できなかった場合。
ウ 教員としてふさわしくない信用失墜行為等が判明した場合。
エ 願書等記載事項に重大な瑕疵や虚偽があった場合。
オ 特別選考及び加点申請に当たって、虚偽の内容を申請した者。(申請した後、結果的に資格等を取得できなかった者を含む。)
- (4) 日本国籍を有しない者を任用する場合は、期限を付さない常勤講師とする。
- (5) 小学校合格者が義務教育学校前期課程に、中学校合格者が義務教育学校後期課程に、小・中学校養護教諭合格者が義務教育学校に配置される場合がある。
- (6) 受験した志望校種と異なる校種に採用又は将来異動となる場合がある。ただし、研修交流を除いて「小・中・義務教育学校」と「高等学校・特別支援学校」間での異動はない。

2 勤務条件

- (1) 給与 ※ 初任給：新卒の場合 <令和7(2025)年4月1日現在>

	小・中・義務教育学校	高等学校	特別支援学校
修士課程修了	283,072円	283,072円	294,172円
大学卒	264,680円	264,680円	275,780円
短大卒	246,804円	242,232円	251,232円

※ 上記金額は、給料月額に教職調整額、義務教育等教員特別手当等を含んだ額。

※ この他に、地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が支給される。

- (2) 勤務地及び校種
- ・ 県内の小学校、中学校、義務教育学校
 - ・ 県内の高等学校、特別支援学校
- (3) 勤務時間
- ・ 週38時間45分
- (4) 休暇等
- ・ 有給休暇は、年次休暇の他、産前・産後休暇等の特別休暇等がある。
 - ・ 子どもが3歳に達するまで、養育に専念できる育児休業制度もある。

【4 採用試験に関する Q&A】

1 受験資格について

Q 特別支援学校での採用を希望しています。必要になる免許を教えてください。

A 特別支援学校については、特別支援学校普通免許状と希望する部（小・中・高）の教科・科目等に相当する普通免許状が必要です。

2 選考区分及び併願、選考概要について

① 特別選考 A 区分に関するもの

Q 特別選考の「A-1 障害のある方を対象とした選考」と「B-1 講師等経験者特別選考」との併願を検討しています。電子申請システムにはどのように入力すればよいですか。

A 電子申請システムでは1つしか入力できないため、「B-1 講師等経験者特別選考」で入力をしてください。また、願書の「障害のある方記入欄」に「A-1 障害のある方を対象とした選考との併願」と記載してください。

② 特別選考 B 区分に関するもの

Q 勤務状況報告書は、どの勤務校に作成を依頼すればよいですか。

A 「1 勤務歴」に「勤務先が複数ある場合、いずれか一つの所属で証明すること」とあるように、直近の勤務で常勤講師としての経験が12ヶ月以上の場合、その学校に作成を依頼してください。12ヶ月未満の場合は、3年以内の範囲でさらに前の勤務校に作成を依頼することになります。

Q 勤務状況報告書の作成依頼の際に、学校長が異動したり退職したりした場合はどうすればよいですか。

A 勤務当時の学校長が退職・異動となった場合は、新たに着任した学校長に作成を依頼してください。

Q 常勤で勤務していた学校が閉校になりました。どこで勤務状況を証明してもらえばよいですか。

A 統廃合があった場合は、統合先の学校長に勤務状況の証明を依頼してください。

Q 「養護助教諭」としての勤務経験がありますが、「B-1 講師等経験者特別選考」を受けることはできますか。

A 「助教諭」の方も、受験資格を満たしていれば受験は可能です。

Q 「B-2 特定の資格や経歴による特別選考」のうち「Ⅲ スポーツの実績による選考」での受験を検討しています。高校生の時の実績を用いてもよいですか。

A 実績の時期は限定していませんので出願は可能です。

③ 特別選考 C 区分に関するもの

Q 「C-4 現職教諭等特別選考」での受験を考えており、現在は私立学校に勤務しています。受験資格はありますか。

A 「都道府県（栃木県は除く）又は政令指定都市が実施する教員採用選考試験に合格した方」が対象となり、私立学校に勤務している方は対象となりません。

④ 特別選考 D 区分に関するもの

Q 大学3年生の時に留学し、卒業は令和9（2027）年3月の予定です。特別選考の受験は可能ですか。

A 受験は可能です。留学や病気等による休学等により、令和9（2027）年3月に卒業見込の方は対象となります。

3 選考方法について

Q 「A-3 特別支援学級担当に係る特別選考」を受験する際、専門科目はどの試験を受験すればよいですか。

A 小学校は小学校専門科目、中学校は免許状を有している教科の専門科目で受験してください。

4 加点制度について

Q 加点制度の申請内容で該当するものが2つあります。両方申請することはできますか。

A 加点申請は、「申請資格」に記載されたアからキのうちいずれか1つのみとなります。

Q 通信制大学で単位を取得し、免許状の申請を行っていますが、出願期間内に発行されない可能性があります。通信制大学の「科目等履修生」のため、「教育職員免許状取得見込証明書」が発行されない場合、どのように対応したらよいですか。

A 出願期間や各都道府県のホームページ等をよく確認いただき、余裕をもって免許状授与申請を行ってください。昨年度中に通信教育等で必要単位を取得し、免許申請中の方で、必要書類の提出が間に合わない場合は、5月7日（水）までに3ページに記載されている問合せ先まで必ず連絡してください。

5 出願手続及び出願方法について

Q 名前の旧字体が表示されません。どのように入力したらよいですか。

A 入力できる字体で対応し、願書印刷後に正しい字を朱書きで記載してください。

Q 大学卒業後に、通信制大学の「科目履修生」として単位を取得しています。「最終学歴」の欄には通信制大学を入力すればよいですか。

A 最終学歴は、科目履修生として在学した通信制大学ではなく、大学卒業時の「大学名」となります。要項17ページの例を確認してください。

Q 履歴書の欄には、アルバイト等の履歴も入力した方がよいですか。

A 履歴は、空白期間がないように、大学卒業後のアルバイト等の履歴（学生時を除く）を入力してください。

Q 同一年度内で勤務校が異なる講師等経験がある場合、どちらも入力した方がよいですか。

A 全て入力してください。

Q 大学3年生ですが、履歴書に入力する大学の履歴は、どのように入力すればよいですか。

A 「始期」は入学年の4月1日、「終期」は令和9年3月31日とし、「学歴・職歴・その他」は〇〇大学卒業見込みと入力してください。（大学4年生については「終期」を令和8年3月31日で入力してください。）

Q 年度内に結婚する予定で、住所等が変更になります。願書の修正は必要ですか。

A 願書提出後の住所変更等については、速やかに3ページに記載されている問合せ先まで御連絡ください。
また、試験に係る書類が届かないということ为避免のため、ご自身で郵便物の転送届の申請を必ず行ってください。

【5 会場へのアクセス】

○ 栃木県内会場 ※ 大学3年生を対象とした特別選考の受験者は県内会場のみ)

ア 宇都宮市立陽北中学校（宇都宮市今泉町 47-2）

- ・ 関東バス：「宇都宮駅西口」から「陽北中学校入口」下車
- ・ 徒歩：JR「宇都宮駅」から約 20 分

イ 宇都宮市立陽南中学校（宇都宮市陽南 2 丁目 4-58）

- ・ 関東バス：「宇都宮駅西口」から「陽南中学校前」下車
- ・ 東武宇都宮線：「江曾島駅」下車後、徒歩で 20 分

ウ 宇都宮市立姿川中学校（宇都宮市西川田町 1038）

- ・ 関東バス：「宇都宮駅西口」から「姿川中学校前」下車
- ・ JR 日光線「鶴田駅」下車後、徒歩で 10 分

エ 栃木県総合教育センター（宇都宮市瓦谷町 1070）

- ・ 関東バス：「宇都宮駅西口」から「野沢寺前」下車後、徒歩で 15 分

オ 栃木県立宇都宮工業高等学校（宇都宮市雀宮町 52）

- ・ JR「雀宮駅」下車後、東口から徒歩で 3 分

○ 仙台会場

- ・ 東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス（宮城県仙台市宮城野区榴岡 2 丁目 5 番 26 号）



- ◆ 2階東西自由通路東口から宮城野通（正面の広い道路）を進んですぐ左側。
- ◆ 地下東西自由通路東口方面「出入口1」より地上に出てすぐ。

★受験者へのお知らせや緊急連絡等は次のページ等に掲載します。こまめに確認をお願いします。

＜栃木県公立学校新規採用教員選考試験に関する情報＞

栃木県教育委員会ホームページ（[栃木県／教職員採用](https://www.pref.tochigi.lg.jp/kyouiku/kyouikugyousei/kyouikuiinkai/)）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/kyouiku/kyouikugyousei/kyouikuiinkai/>

採用担当 X（[栃木県教育委員会採用担当 X](https://x.com/tsaiyo_tochigi)）

https://x.com/tsaiyo_tochigi



栃木県教育委員会 HP



採用担当 X